

# 認定看護師会だより

2022年6月17日

認定看護師会

緩和ケア認定看護師：櫻井直美(PHS：3937)

No.139

今回は「連絡ノート」についてお伝えします。連絡ノートは富士市医師会において作成し、富士市全体で緩和ケア地域連携パスとして利用するため、2019年より試行開始しています。

## 【連絡ノート活用の目的】

富士市及び近隣にお住いの療養者の病状が悪化したとき、緊急時・災害時など安心して医療が受けられ、少しでも早く元の生活に戻れることを目標に、富士市医師会が作成したものです。ご利用する方がいつまでも快適な在宅療養を送るために医療・介護の関わる事業者が共有するものです。ご自宅での様子や病状、お薬などの情報が入っています。ご自宅に保管しご自身で管理する『健康カルテ』として、ご自宅と病院とを結ぶ橋渡しとして活用していただければと思います。

## 【連絡ノートの内容】

1. 基本情報
2. 情報共有のための活用ノート
3. 私のリビングウィル
4. 私のリビングウィル記載にあたっての説明書
5. 患者情報
6. お薬情報
7. 居宅サービス情報
8. 『連絡ノート』活用方法

## ＜リビングウィルとは＞

延命治療や自己決定ができなくなった時に、個人が望むことや代理意思決定者などについて、事前に意思を文書で表明しておくことです。より広い概念としてACP（アドバンス・ケア・プランニング）があります。

## 【連絡ノート活用をお勧めする方】

- ★ACP・リビングウィル・人生会議・終活などについて考えている
- ★がんや慢性疾患で何度か入院したり、通院を継続している
- ★今後の治療や生活に不安がある

## 【連絡ノートを渡す初回面談】

- ★木曜日
- ★外来受診時・入院中の患者様やご家族に
- ★緩和ケア認定看護師：池田康恵・櫻井直美が対応します。

## 【外科・泌尿器科(7件)で使用した感想や意見】

- ☆ノートを渡すタイミングが個々で違うので判断が難しい
  - ☆初回面談時は慎重で丁寧な対応が必要であるという意見がありました(その他右記参照)。
- 気になる方がいましたら、ぜひご連絡ください。

## 【院内掲示用ポスター】

あなたのそばに「連絡ノート」



あなたは、自分の最期について考えたことがありますか？

こんなはずではなかったと、後悔する前にぜひ、あなたのため、そして、あなたの大切なひとのためにこの「連絡ノート」を活用し、ご家族との時間を持ってみませんか

お問合せはお近くのスタッフまで  
富士市立中央病院：緩和ケア委員会事務局  
内線：2971、PHS：3151/3091

【連絡ノート(実物)】



「本人の記録や希望など記載があったことで介しやすくなった」  
「リビングウィルがあることで適切な看取りができた」

リビングウィルは気持ちの変化があればその都度見直して書き直すことができるため、日頃から本人に確認し家族と共有できる

